

2026年5月7日
三菱総研DCS株式会社

報道関係者各位

特別支援学校・学級の新たな教育をサポート！
「コミュニケーションロボット無償貸し出しプロジェクト」を開始
～ 2026年度 希望校募集 ～

三菱総研DCS株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：亀田 浩樹）は、社会貢献活動の一環として、特別支援学校・学級を対象とした「コミュニケーションロボット無償貸し出しプロジェクト」を開始するとともに、2026年度 貸し出し希望校を募集します。

この取り組みは、障がいや発達特性のある児童生徒の前向きな気持ちを引き出し、ソーシャルスキルトレーニングの実施や授業運営を支援します。

1. プロジェクト概要

▶ 貸し出し物

- ・ ロボット「あるくメカトロウィーゴ」
手のひらサイズ（全長約13cm）の小型二足歩行ロボット
（当社独自のプログラムを搭載したロボットをお貸し出し）

▶ 当社独自プログラムの特長

- ・ 社会性を育むコミュニケーション学習サポート
児童生徒の興味を引き出すロボットが
ソーシャルスキルトレーニングをサポート
- ・ 多様なニーズに応えるカスタマイズ性
利用シーンや児童生徒の特性にあわせた
コンテンツの作成が可能
- ・ 専門知識不要で使いやすい
ロボットはお手持ちのタブレットやPCで操作可能、
直感的でシンプルなインターフェースを提供

▶ 主な提供メニュー

“コミュニケーション”を軸としたメニュー内容

- ・ おしゃべり：ロボットとの会話
- ・ クイズ：ロボットがクイズを出題し、
生徒が回答するといったやりとり
- ・ アバター：ロボットが自己の代わりに発話、ボディランゲージ など

あるくメカトロウィーゴ



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi



操作画面イメージ

2. 募集要項／応募方法

募集校数	10校限定
対象学年	特別支援学校・学級（学年は応相談）
募集期間	～2026年5月31日（日）まで （2026年6月1日（月）以降は、空き状況により先着順で受け付け）
貸し出し期間	貸し出し日～2027年3月31日（水）まで
実施費用	無償（アンケート、事例掲載、効果測定等へのご協力をお願いします）
ご準備いただくもの	操作用タブレットまたはPC、ネットワーク（Wi-Fi環境）
応募方法	申し込みフォーム から https://willap.jp/p/acc_9077/linkrobo2026_registration/

※個人情報の取り扱い：ご記入いただく個人情報は、以下の目的に利用します。

- (1) 本活動の運営・管理
 - (2) 当社関連のイベント・セミナー、商品・サービス、各種資料等のご案内・ご連絡
- ただし、(2)については、ご要請があればすみやかに中止します。当該利用目的及び個人情報の取り扱いについて (https://www.dcs.co.jp/pd_handling/) にご同意のうえお申し込みください。

3. 参考：実績

特別支援学校向けにコミュニケーションロボットを活用した取り組み事例

- ・ [小中学校・特別支援学校向け「ロボットプログラミング入門」無償出張授業](#)
- ・ [特別支援教育におけるロボットを活用したソーシャルスキルトレーニング（実証レポート）](#)
- ・ [コミュニケーションロボットがつかない現代アートと子どもたちー横浜市のDX推進を支援](#)

本プロジェクトは、ロボット開発会社である株式会社リビングロボット（本社：福島県、代表取締役：川内 康裕）にもご支援いただいています。

▶ [株式会社リビングロボット 関連リリース「特別支援学校・学級向けプロジェクトに協力」](#)

■三菱総研DCS株式会社について

1970年の創立以来、金融、製造、公共、教育など幅広い分野で、コンサルティングからシステム開発、アウトソーシングまで、包括的に提供するITトータルソリューション企業です。教育分野では、全国シェアNo.1^{※1}を誇るインターネット出願サービス「miraicompass」を提供しています。2016年よりコミュニケーションロボットの取り組みを開始し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の採択を受けました。2021年より、社会貢献活動としてロボットプログラミング授業を開始し、教育現場での活用支援を推進しています。

※1 2025年12月時点

*本プレス内の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

■お問い合わせ

三菱総研DCS株式会社 〒108-0073 東京都港区三田三丁目5番19号

- ・当取り組みに関して コミュニケーションロボット事務局 Email: robocomm@dcs.co.jp
- ・当リリースに関して 広報部 TEL: 03-4314-8004 Email: kouhou@dcs.co.jp

私たちは、社会全体の福祉の向上と持続可能な未来を目指した社会貢献活動の一環として、未来を担う子どもたちの教育活動を支援しています。

特別支援教育向け

コミュニケーションロボットを 無償でお貸し出します！

コミュニケーションロボットを1年度間無料で貸し出します。
ロボットの活用により、児童生徒の前向きな気持ちを引き出し、
ソーシャルスキルトレーニングの実施や授業運営を支援します。



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

概要

貸し出し物

ロボット「あるくメカトロウィーゴ」
手のひらサイズ(全長約13cm)の小型二足歩行ロボットです。
当社独自のアプリケーションを搭載し、貸し出します。

対象学年

特別支援学校・学級

実施費用

無償
アンケート、事例掲載、効果測定等へのご協力をお願いします。

ご準備いただくもの

- ・ 操作用タブレットまたはPC
- ・ ネットワーク(Wi-Fi環境)

募集・お貸出し期間

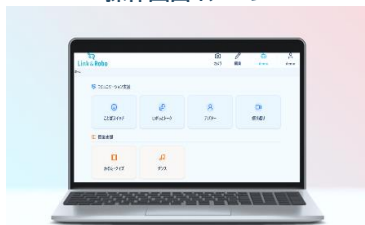
当社ニュースリリースやメールマガジン等でご案内
応募方法、期間などの詳細をご案内します。

あるくメカトロウィーゴ



© MODERHYTHM / Kazushi Kobayashi

操作画面イメージ



当社独自アプリケーションの特長

- **社会性を育むコミュニケーション学習サポート**
児童生徒の興味を引き出すロボットが
ソーシャルスキルトレーニングをサポート
- **多様なニーズに応えるカスタマイズ性**
利用シーンや児童生徒の特性にあわせた
コンテンツの作成が可能
- **専門知識不要で使いやすい**
ロボットの操作はお手持ちのタブレットや
PCで操作可能、直感的でシンプルな
インターフェースを提供

操作メニューから
言葉や動作を指示



こんにちは

こんにちは



利用イメージ

ことばスイッチ/アバター
キーボード入力や、絵カードの選択
操作で、ロボットが代わりに発話



ロボットとトーク

あらかじめ作成した対話
シナリオで、ロボットと
対話を練習



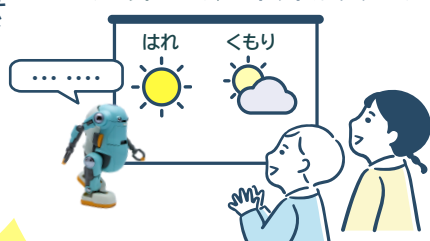
かるた・クイズ

ロボットがかるたやクイズを
読み上げ、生徒がQRコード
で回答



プレゼンロボ

PowerPointのスライドショー
にあわせて、ロボットがプレゼン



“コミュニケーション”を軸としたロボット活用で、特別支援学校・学級の新たな教育をサポート！

メルマガ会員
募集中

募集開始のご案内や、教育に関するさまざまな
取り組みをメールマガジンで配信しております。

https://willap.jp/p/acc_9077/request/

▼ 登録はコチラ



三菱総研DCS株式会社

東京都港区三田三丁目5番19号
東京三田ガーデンタワー

ロボット貸し出し担当
robocomm@dcs.co.jp